

2021年(令和3年)8月5日 木曜日

四国中学校 総合体育大会

第59回四国中学校総合体育大会第5日は4日、愛媛、高知、香川の3県で新体操、ハンドボール、卓球が行われた。新体操の女子団体では、羽ノ浦が4年ぶり7度目の優勝。生光学園が2位で続き、徳島県勢が全国中学校体育大会(全中)出場の2枠を独占した。

生光学園2位 全中出場権

新体操

(愛媛県総合運動公園体育館)
◇3位以内と徳島県関係

【女子】団体①羽ノ浦(一宮、福高、鎌田、入江、幸泉、世良、宇野、溝口) 19・85点②生光学園(古澤、岡、川西、渡邊、吉成、田村、野田) 16・25点③玉藻(香川) 14・30点



基本に忠実な演技で2位に入った生光学園

全中で勝ちたい

○：試技順1番で登場した生光学園。緊張から前半でボールを捕り損ねるミスをしたものの、以後は普段の練習で意識しているという基本に忠実な演技でしつかりまとめた。2位で全中への出場権を確保し、渡邊監督は「次につながった」とほっとした様子だった。県総体では、しのぎを削るライバルの羽ノ浦に惜しくも敗れて2位。四国総体で雪辱しようと、つま先など細部まで意識することを心掛けて練習に打ち込んできたが、及ばなかった。「全中では勝てるように頑張る」と早速気持ちを切り替えた古澤主将。2年前に12位に入った先輩の順位を超えることが目標だ。